

令和7年度「一般選抜前期日程試験（個別学力検査・英語）」講評

ねらい

前期試験では、大学で求められる基本的な学力を試すことを念頭に、共通テストとは異なる視点で総合的な英語力を問う。具体的には、長文の内容を素早く読み取り、その要点を英語で簡潔に表現する力や、未知の語彙について文脈中で説明されている箇所を的確に理解する力（あるいは、語彙の説明がなされている箇所を的確に理解する力）、自分の考えを英語で論理的に表現する力を試すことをねらいとしている。

全体講評（Ⅰ・Ⅱ）

「ねらい」にある「要点を英語で簡潔に表現する力や、未知の語彙について文脈中で説明されている箇所を的確に理解する力」を試す問題である。今年度は全体的に大問Ⅰの出来が良く、大問Ⅱの点数が低かった。記述式問題の解答においては、正解に該当する箇所をただ抜き出しているだけの解答、完全な文（主語、動詞を伴う文）で答えられていないものなどが多かった。正解を導き出すには、本文だけでなく問題文もよく読み、問いに対応した形に本文の表現をパラフレーズさせて答えることが重要である。日頃から主語と動詞の対応などを考えながら、英文の問いに対して適切に対処する練習を行ってほしい。また、本文中の難しい単語の意味に関しては、ある程度前後の内容から予想することができる。接続詞、形容詞、副詞などに着目して、文の大まかなニュアンスを把握することを心がけよう。

各設問（Ⅰ・Ⅱ）

Ⅰ

- 問1 “rejection therapy”の初日に Ja Jiang が行ったことを読み取り、日本語で空所補充する問題。正答率は高かった。
- 問2 英単語 (resilience) の意味を文脈から推測する選択問題。正答率は低かった。
前後の文章 (“to approach strangers with strange requests to build their resilience against rejection”) から、拒絶されることに対して、「何を」養うのかを推測すると、ヒントが得られる。
- 問3 ②段落の内容理解を問う空所補充問題（選択式回答）。
段落の内容が理解できれば、ストレートな問題だが、選択肢の細かい違いをきちんと読み取る必要がある。
全問正答率は半分程度。
- 問4 下線部和訳問題。正答率は6～7割程度。
“must be rejected” という受動態の文章を「断らなければならない」と誤訳する単純なミスや、“at least once, every single day” という頻度を表す表現を「1日ごとに、1日おきに」と誤訳する例も見られた。
和訳問題では、解答をきちんと見直し、日本語として成立しているかを確認することも

重要。

問5 問4で和訳した内容の「目的」と「事例」を回答する問題。正答率は6割程度。

「目的」に関して、下線部より前の“to break the pressure of social anxiety”を引用する回答が見られたが、これは rejection therapy を考え出した Comely さんの動機である。

行為の目的は③段落最後の文にある “[to] overcome the pain to being rejected.”

「事例」に関して、問題文に「④または⑤段落から1つ選び」と指示があるにも関わらず、③段落の事例を挙げた回答が複数見られた。指示文をきちんと読むことも大切。

正解ではあるが、部分的に減点になった事例として、“stranger（見知らぬ人）”を「奇妙な人、変な人」と誤訳、また、“requesting a free night’s stay at a hotel”を「自由な夜」と誤訳する等、が見られた。同じ単語にも複数の意味があるので、文脈によって使い分けの力を身に付けてほしい。

問6 下線部和訳問題。2つの英文を自然な流れになるように和訳する必要があるが、直訳しただけで前後の繋がりに欠ける解答が散見された。文法的なポイントとしては、文中の最上級の the worst（最悪なこと）と比較級、および in reality（実際には）がきちんと訳出できるかである。

問7 UCLA で行われた実験について説明した日本語要約文の中に、適語を補充する問題。空所<A>～<E>に入る語（句）は⑧、⑨段落内にある。要約文に相当する英文を探し出した上で、文意に沿って日本語に直す必要がある。<A>は lonely、は physical pain、<C>は the same、<D>は rely on other people、<E>は pained が相当する語（句）である。

問8 空所補充問題。選択肢は全て connect の派生語であるため、文脈から推測する。空所【a】は直前の whenever から始まる従属節中にあるが、節内の構造は we feel (that) S V～の SVO 構文になっている。よって、省略された that 以下の文中の動詞 are に気が付けば複数名詞の connections が入ることがわかる。空所【b】も同様に、直後の動詞の are に注目すれば複数名詞の connections しか入らないことがわかる。よって、英文構造を捉えながら、意味と形式の両方を文脈から読み取る必要がある。空所【c】の部分は「他者とつながっている」という意味合いで stay connected to others となる。ラジオやテレビ番組などで「チャンネルはそのままです」と言う時の Please stay tuned. など、よく使われる典型的な SVC 構文ではあるが、あまり馴染みはないかもしれない。普段から少し疑問に感じたフレーズや英語表現などがある際には、こまめに確認する習慣をつけてほしいと思う。全問正答者は少なかった。

問9 見知らぬ人に対して Jia Jiang が依頼したと思われる内容を推測させる問題。正解は「週末に君のアパートに泊まってもいいかな？」である。本文④段落中に、The questions he asked were direct but strange, such as requesting a free night’s stay at a hotel or asking to take a picture with a stranger.とあり、彼の質問が「直接的だが奇妙な質問」であることがわかるので、選択肢の◎が適当。その他の選択肢は日常的にありがちな質問・依頼であり、奇妙なものとは言えない。正答率は全体的に高かった。

II

問1

(ア) この英文には重要な点が2つある。1点目は、be used to doing (～するのに慣れている) の理解である。したがって、前半部の和訳は、「多くの人々は kawaii という語を聞き慣れている」となる。used を「使われている」と訳したり、be used to do と混同したりする誤訳が目立った。2点目は、but 以下の語句の結び付きである。例えば、know の目的語が its origin と that 節であり、これが or で結ばれているため、not は両者を否定している。そのため後半部の和訳は、「しかし、多くの人々はその語の語源も、その語は時が経つにつれて大きく変化してきたことも本当に分かっているわけではない」となる。really know を「どれだけ知っているか」と訳した答案も目立った。部分点をもらった受験生が大半で、正答率は4割程度であった。

(イ) この英文の要は only if (～の場合のみ) の理解である。「only if 以下の場合にのみ、前半となる」という意味の構成になるので、和訳は、「日本では、女性が肉体面でも精神面でも子どもらしい自分を保っている場合にのみ、(初めて) 可愛いと見なされる」となる。前置詞 as (～として) の理解不足、従属接続詞 if と whether (～かどうか) の混同、副詞 physically と mentally を形容詞として訳した誤答も目立った。部分点をもらった受験生が大半で、正答率は3割程度であった。

(ウ) この英文は SVO の第3文型であるが、この単純な文構造が理解できていない答案が大半を占めていた。本動詞は shows で、これに対する主語は Japan's need であり、目的語は the problems である。つまり、「Japan's need が the problems を shows する」という構文である。和訳は、「しかしながら、日本では力強く、自信に満ちた女性を無垢で純真な女性として描く必要があるということが、「かわいい」文化の諸問題を示している」となる。to ... naïve が need (必要性) の説明となっている点が理解できれば正答に近づくことになるが、この点でも不十分な答案が多数あった。部分点をもらった受験生が大半で、正答率は2割程度であった。

問2 英単語 sexism の意味内容を日本語で説明する必要がある。ポイントは、男女の一方を他方と同等に扱わないこと、つまり、性別による差別である。この点に触れていたら正答とした。部分点をもらった受験生もいたが、5割程度が正答であった。

問3

(A) It's ... figures. の文に、I've ... here が挿入されているので、前者が主節、後者が従属節となる。選択肢の中で従属節を導く接続詞は①even though (譲歩「～ではあるが」) と②because (理由「～だから」) である。一方、副詞 however と、前置詞を含む due to は接続詞としては使用できない。本文では、多くの人が気づいていない「かわいい」の側面が指摘されている。そのため、「人生のほとんどを日本で過ごしてきたけれど、今でも主節の that 節の内容が私には奇妙に感じられる」という意味になり、譲歩を表す①even though が正解となる。なお、主節の that 節の内容が問9と関連している。この問題の正答率は2割程度だった。

(B) 選択肢はすべて関係代名詞である。まず、直後に動詞 described があるため、主語

の働きをする関係代名詞を選ぶ必要がある。したがって、名詞の前に置かれる所有格の関係代名詞①whose は不適切である。また、先行詞は kawo-hayu-shi (顔映ゆし) であり、人ではないため、人を先行詞とする③who も適切ではない。さらに、直前にコンマがあることから、この関係詞節は非制限用法であることがわかる。非制限用法では使えない④that も除外される。よって、正解は②which となる。この問題の正答率は 4 割程度だった。

- (C) 「アニメファンでない限り、that 節の内容は知らないだろう」という文の意味を考えながら、適切な動詞を選ぶ必要がある。まず、「want + 目的語 + to 不定詞」の目的語は受動文主語にできないため、過去分詞の②wanted は不適切である。また、動詞 consider は通常、直後に to 不定詞をとらないため、現在分詞の③considering も適切ではない。次に、①wanting と④considered を選んだ時の意味を比較してみよう。①の場合、「Kotono Mitsuishi は可愛い声の女王になりたいと思っている」となり、④の場合、「Kotono Mitsuishi は可愛い声の女王だと見なされている」となる。本文の⑨段落では、Kotono Mitsuishi という人が voice actor (声優) であり、彼女が有名なアニメシリーズで声を担当したことが述べられている。そのため、「可愛い声の女王だと見なされている」の方が自然であり、正解は④considered となる。なお、動詞 want は通常進行形で使われない点にも注意が必要である。この問題の正答率は 3 割程度だった。

問 4 ～ 問 7

語の同義語や定義を答える問題。正答率はどの設問も 5 割程度であった。こういった問題は、単語の意味を知っているかどうかではなく、文脈から語の意味を推測できるかを問うている。前後の内容をしっかりと読んでから答えてほしい。

- 問 4 下線部を含む③段落第 3 文の文頭が Yet 「しかし」であることに注目。前文にかわいい文化は“innocent part of Japanese culture”「日本文化の無垢な面」として見なされている、とあるので、逆接で始まる第 3 文は「以前はそうではなかった」というニュアンスになると推測できる。そう考えると、morphed は①changed と同義だとわかる。他の選択肢は②「反転した」③「消えた」④「使用した」の意味。⑤段落第 2 文に書かれているかわいいという言葉の元々の意味合いは現在の意味と真逆のものではないので、②は不適。

- 問 5 下線部を含む⑨段落第 1 文は「ツイッター上のファンは、2017 年のワーナー・ブラザーズ・ジャパンによる宣伝広告における、ワンダー・ウーマンの描かれ方に...した」の意。ワンダー・ウーマンの実像と日本での宣伝のされ方に大きなギャップがあったということは⑨、⑩段落で述べられており、それに対しファンがポジティブな反応を示すとは考えにくい。よって正解は③の upset 「動転した」である。他の選択肢は①「興奮した」②「喜んだ」④「神経質な」の意味。

- 問 6 下線部を含む⑩段落最終文は、「kawaii-ism は、外見上はかわいらしいものかもしれないが、女性は無垢かで従順であるべきだという古い考え方を...」の意味。下線部の直前に but があることから、後半部分は「“kawaii-ism”には単純にかわいいと言ってもては

やすだけでは済まされない問題がある」という趣旨の内容になると推測できる。そう考えると、idea 以下の内容を否定する③、④は不適だと分かる。また、kawaii-ism の外見上のかawaiiらしさと、その奥に潜む性差別的な考えの両方を指摘している文章なので、文脈により合致するのは③ではなく④である。他の選択肢は③「～とは異なる」 ④「～と似ている」 ⑤「～を拒絶する」の意味。

問 7 下線部を含む①段落最終文は、「女性が～である必要性は、生活のその他の領域にまで波及している」の意味。「かわいい」の表象の中に性差別的なニュアンスがあるというのは本文の中で繰り返し論じられており。全体の要旨を踏まえれば *submissive* の意味は男性よりも弱い立場に置かれている女性を表す言葉であると推測できる。よって正解は④の「文句を言わずに進んで人やものに従うこと」が正解。③の *be unwilling to* ～「～したがらない」と⑤の *be ready to* ～「進んで～する」は覚えておきたい表現である。他の選択肢は③「考えや気持ちをうまく伝えること」 ④「権威や制限や慣習に抗いたい気持ちを示すこと」 ⑤「考え方を変えることに非常に気が進まない」の意味。

問 8 空所に適語を入れて⑥段落の内容の要約を完成させる問題。正答率はいずれも 6 割程度であった。要約文の「人々は～の持つ特徴に惹きつけられる傾向」にあり、それらを「～だと見なしている」という文の構造を理解することが正解の鍵となる。⑥段落第 2 文に「大きな頭や目、丸い顔、ふっくらした頬」といった身体的特徴が列挙されているが、それらはすべて赤ん坊の特徴なので (a) には *baby* が入る。*infant*「幼児」でも意味は通るが、空所の直前の冠詞が *a* であることに注意。要約文の“*regarding them as (b)*”は、本文中の“*which are all perceived as cute or cuddly*”の言い換えである。よって正解は *cute* または *cuddly*。空所(c)の前後は、本文中の“*create the motivation to care for infant creatures in adults*”「幼い子どもを気にかけていたいという気持ちが大人たちの中に生まれる」の言い換えである。よって正解は *adults*。

問 9 筆者が“*odd*”（奇妙だ）と思う事柄について説明する問題。正答率は 4 割程度であった。“*even though I've spent most of my life here*”という接続詞節が挿入されているが、そのあとに *that* SV の名詞節が続いていることに注目。要するにこの文章の文頭の *It's* の *It* は形式主語（仮主語）で、真主語は“*that a grown adult would spend their hard-earned money on things like anime figures*”「大の大人が頑張って稼いだお金をアニメのフィギュアのようなものに費やそうとすること」である。この部分が正解にあたることを理解していたものに関しては幅広く正解とした。*It's* の *It* を指示代名詞だと考えて前段落の末尾の部分の内容を記述している解答が非常に多かった。

問 10 ⑤段落第 3 文にある、「かわいい」の語源について答える問題。正答率は 6 割程度であった。もともと「かわいい」は「顔映ゆし」の意味であったという記述があるが、現在使われている語ではないので、この言葉を答えるだけでは正解にはならない。以降に関係代名詞の非制限用法でこの語の意味を説明している、“*the feeling of embarrassment, awkwardness, and self-consciousness*”の部分の説明する必要がある。「当惑」、「きまりが悪い」、「気まずい」、「内気な」などのニュアンスの解答に関しては幅広く正解とした。

問 11 ⑧～⑩段落の内容をもとに、映画 *Wonder Woman* の日本でのプロモーションの問題点

について答える問題。正答率は非常に低く、2割に満たないほどであった。そもそも映画について書いていない解答が非常に多かった。“movie”、“promotion”、“campaign”などといった単語を見れば映画の宣伝の話であることは理解できるはずである。また、問題文を読んでいないのか、⑧段落や⑩段落の末尾をただ和訳した解答も散見された。解答として押さえておきたいポイントは、“an age-old icon of feminism”（昔からフェミニズムの象徴的存在）であった Wonder Woman は“the most powerful superheroes in existence”（もっとも力強いスーパーヒーロー）であるにもかかわらず、日本では“incredibly innocent and naïve girl”（信じられないほど無垢で世間知らずな少女）であるという点が強調されて宣伝され、さらにその予告映像を“the queen of kawaii voices”である声優がナレーターを務めたことである。Wonder Woman の人物造形と、日本での宣伝のされ方のギャップについて理解できている解答に関しては幅広く正解とした。

問 12 問題文は「本文では、現代社会における性差別について論じている。女性（あるいは男性）が平等に扱われていないと思う状況を一つ取り上げて述べなさい。少なくとも2文書くこと」という意味。問題文を大きく取り違えている解答はなかったが、正答率は4割程度で、未解答のものも多かった。満点の解答は少なかったが、性差別の問題についてある程度正しい文法で書かれているものに関しては寛大に加点した。

全体的に主語、動詞が対応していないもの、あるいは語順がでたらめなものがかかり多かった。また、記述内容については、学校の制服など高校生にとってタイムリーな内容のものもあったが、性差別の例とは言えないような解答も多く、それらに関しては0点とした。自分の意見や経験について書く問題は、問題の趣旨と記述しようとする内容が合致しているかをよく考える必要がある。

III

総評

昨年同様、与えられたトピックについて100語以上の英文パラグラフを書く問題が2問出題された。

今年度は、トピック1では「あなたの好きな（自分の家以外の）場所を紹介し、なぜそこに行くのが好きなのか説明しなさい」という問題、トピック2では「大問1を踏まえ、自分をより良くするために行ったことがあることを説明しなさい」という問題を出題した。昨年に比べ、白紙（特にトピック2）や、問題文の趣旨を取り違えている解答が多かったのは残念であった。

全体的な注意点としては以下3点が挙げられる。まず品詞の確認をすることが大切である。せっかく単語を知っていても、動詞の部分に名詞形を使っていたり、形容詞が副詞になっていたりと、残念な間違いが見られた。次に基本的な文構造（それぞれの文に主語と動詞があるかどうか）を確認することは必須である。まずは短文でも良いので、きちんとした英文構造を身に付けてほしい。最後に文と文のつながりを考えて、適切な「つなぎ表現」を用いることは、読み手の理解につながるので工夫が期待される点である。

答案作成についての解答例および講評

最後に採点者による解答例と講評を載せておく。自学自習や学校の授業で今年度の問題を使われる場合は、こちらの解答例を模範解答としてお使いいただきたい。

Sample answers

Topic 1

My favorite place to visit is my grandparent's home because I can fully relax when I am there. First, I am really able to relax when I am with my grandparents. For example, my grandmother is a great cook, and she always teaches me new recipes when I visit. Also, my grandfather is very funny. He tells interesting stories, so I love listening to him and learning about my grandparents' lives. I am able to forget my worries when I eat my grandmother's food and talk with my grandfather. Second, my grandparents' home is very peaceful. It is located in the country side, and it is surrounded by beautiful nature, such as mountains, trees, and small streams. I love how quiet it is, and I always sleep very well at their home. Recently, I have been very busy studying, so I am looking forward to spending a relaxing time at my grandparents' house soon. (154 words)

Topic 2

One thing I have done to improve myself is to work on my homework and other things a little every day. For example, when I was in middle school, I would always study the day before a test. Sometimes my scores were low, but mostly I did o.k. in middle school. In my first year of high school, however, this became a big problem. My grades were very bad during my first year. At this time, I learned that I cannot just study the day before a test, so I made the habit to study a little every day. Although it is hard sometimes, I have continued to do this, and my grades have improved. (115 words)

Comments

First, many of the paragraphs were well written and contained many original, thoughtful ideas, which we were very happy to see. One area where students can work to improve their writing is to practice developing a few strong points instead of writing a list of many different ideas. In the first paragraph, you can see that the writer's favorite place to visit is their grandparents' house because they can relax. The author gives two main reasons for this: 1) "I am really able to relax when I am with my grandparents", and 2) "My grandparents' home is very peaceful". The author then gives specific reasons and examples to support these two main ideas. This is more effective than many different reasons and examples.

Test takers should also be careful when reading the writing prompts. The first topic asks you to write about "your favorite place to visit," but a number of test takers wrote about where they want to visit in the future. Additionally, some wrote about multiple different places. Similarly, for the second prompt, a number of students wrote about something they want to do to improve themselves in the future, rather than something they have already done in the past. When answering the essay questions, be sure that your paragraph addresses the writing prompt.